

まこと通信

福岡県議会議員

2023
3
Vol.101

特集 | 障がい児・者にやさしい福岡県を

1 佐々木と障がい者関係者の提案で実現！

インクルーシブ公園が筑豊緑地に

福岡県は2023年度予算において、「県営公園のインクルーシブ遊具設置」事業に関し新規予算として決定しました。これは、田川地域の障がい者団体の皆さんから、強く要望を頂いていたもので、私も執行部にその実現を訴えていました。

県執行部も、障がい者団体や保護者の皆さんとの勉強会を重ねるとともに、その実現のために努力を重ね、今回の新規予算の決定となりました。

なお、公園設計においても、保護者など何度も勉強会を重ねて、要望を最大限受け入れる形で進めています。

また、筑豊緑地のほか、大濠公園など5つの県営公園でインクルーシブ遊具の設置も決まりました。

障がい児・者の声を形にすることができました。引き続き、よりよい公園になるよう、県当局としっかりと連携していきます。



インクルーシブ公園ができる筑豊緑地

インクルーシブ公園とは

障がいのある子どもも、安心して遊ぶことができる遊具を設置した公園のこと。車いすのまま乗ることのできる遊具や、クッション性のある地面、広場全体をフェンスで囲み急な飛び出しなどを防ぐなど、様々な配慮がされています。



車椅子に乗ったまま遊べる遊具（イメージ）



インクルーシブ公園勉強会の様子

2 福岡県手話言語条例制定

手話関連予算の大幅増へ

2月定例会において、福岡県は「県手話言語条例」を提案、全会一致で可決成立しました。

この条例は、「手話は言語」と位置づけ、手話通訳者・士の養成研修の充実や県の体制整備などを規定したものです。都道府県単位では、すでに30以上で条例が制定されており、田川市郡は、多くの運

動の結果、全ての市町村で条例が制定されている先進地域もあります。

今後は、この具体的な事業の充実が求められます。会派でも手話通訳士の育成を始め、聴覚障がい者の権利獲得を強く訴えてきました。引き続き取り組んでいきます。

条例の主な内容

- 手話は言語であり、心豊かな生活を送るために必要な文化的なもの。ろう者が手話を使い安心して生活できる社会を目指す
- 聴覚障害のある人が乳幼児期から、家族などとともに手話を学ぶ機会を確保する 等



当事者と意見交換の様子

3 家族を支える体制を

医療的ケア児レスパイト事業 県「全自治体実施へ支援」

2月定例会予算特別委員会では、日常的に痰の吸引や経管栄養が必要な医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担の軽減のため、県単独事業として実施している「医療的ケア児在宅レスパイト事業」について質問しました。この事業は市町村が実施主体になりますが、田川市郡では残念ながら実施され

ていません。県としては「未実施の市町村へ実施に向けて働きかけを進める」と答弁がありました。

また、医療的ケア児の短期入所施設についても、受入事業所を増やすよう要望。執行部も今後ニーズの把握などを経た上で、個別の事業所に働きかけを行うことになりました。

県医療的ケア児在宅レスパイト事業とは

医療的ケア児の自宅等に訪問看護ステーションの看護師を派遣する事業。18歳未満が対象で、年間48時間が上限。県が2分の1、市町村が2分の1を負担し、利用者負担はありません。現在、県内21市13町で事業を実施中ですが田川市郡では実施されていません。

「地域公共交通振興議連」発足 公共交通支援強化意見書 国に提出

県議会は3月3日、JR九州などに減便やダイヤ見直し、公共交通の振興を目的に「福岡県地域公共交通事業振興議員連盟」を設立しました。コロナ禍により鹿児島本線などでは減便され、居住環境の悪化や利便性が低下していることについて「看過できない」としたものです。

福岡市と筑豊を結ぶ「福北ゆたか線」においても、減便や車両数の減少で利便性が悪化したという声も多く頂いています。

一方で、コロナ禍によって交通事業者の経営は極めて厳しい状況となり、国へ各種施策の充実を求める意見書を私が所属する会派が提案し、全会一致で可決しました。引き続き、公共交通を維持していくための方策を県議会あげて議論していく予定にしています。

ウクライナ支援 いちご販売会

ウクライナ避難民で、現在「暖家の丘」のあまおう農園で働いているエカテリーナ・チャプリンシカさんが、2月17日、田川市役所であまおうの即売会を開催しました。用意していたあまおうは数十分で完売したことです。

ロシアによるウクライナ侵略から1年が経過していますが、収束にはいたっていません。引き続き、ウクライナ避難民の支援を私も続けていきたいと思います。

2.1 田川市建築協同組合 勉強会



建築業界の皆さんとの協同組合で、自主事業として、県発注公共入札に関する勉強会を実施し、私も参加しました。

県政報告会 各地で実施

コロナ禍で中断していた「県政報告会」を再開。市内各所で行い、延べ300人の方々にご参加頂きました。自分の声で、思いを伝えるとともに、皆さんの声を頂く貴重な機会、これからも続けて参ります。



2月4日 角銅原地区

- ### 意見書の主な内容
- 一 コロナ禍を考慮し、交通事業者へ国による包括的な需要喚起策の実施
 - 二 バス事業者の支援拡充、運転手不足の具体的対策の実施。
 - 三 利用者の利便性向上や交通事業者のDX推進への支援策の拡充
 - 四 鉄道事業者に対して企業規模によらず各種減免・補助制度を維持・拡充



2.11 田川市社会福祉大会



田川市において長年社会福祉分野で貢献のあった方々の表彰も行われました。高齢化が進み、ますます社会福祉分野の充実は重要になっています。



2月18日 弓削田地区



2月19日 夏吉地区



2月19日 吉田地区

2月活動報告

- 1 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
田川市建築協同組合勉強会（福岡市）
- 2 終日・地域活動
- 3 松原一区公民館役員会議
- 4 角銅原地区県政報告会
伊田校区後援会会議
- 5 英彦山「靈山会」挨拶
夏吉公民館運営会議挨拶
- 6 地公労情宣担当者会議
- 7 労組選対退職者の会代表者会議
連合後援会「七寿の会」会合
- 8 後援会幹部会
県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
- 9 筑豊地区舗装協会あいさつ回り
- 10 福岡県農政連第20回統一地方選挙総決起大会（福岡市）
連合後援会「華の会」会合
- 11 田川市社会福祉大会
- 12 地元廃品回収
伊加利地区県政報告会
城山町地区県政報告会
参議院議員辻元清美時局講演会
- 13 議会運営委員会（福岡市）
県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
- 14 地元企業あいさつ回り
龍谷大学校友会北豊支部理事会（北九州市）
- 15 県議会予算勉強会（福岡市）
- 16 連合後援会拡大役員会議
- 17 桐ヶ丘地区県政報告会
企業あいさつ回り
弓削田地区県政報告会
- 18 新生町地区県政報告会
夏吉地区県政報告会
吉田地区県政報告会
- 19 県議会本会議（福岡市）
会派勉強会（福岡市）
- 20 連合後援会幹部会
後援会労組選対会議
- 21 終日地域あいさつ回り
会派勉強会
- 22 「佐々木まこと君」を閉む会
田川市議候補さかきばら大祐事務所開き
- 23 県議会本会議（福岡市）
- 24 県議会本会議（福岡市）
県議会タイ友好議員連盟役員会（福岡市）

佐々木まことプロフィール



1981年生まれ。41歳。

猪位金小・猪位金中・県立東鷹高・龍谷大学法学部政治学科卒業。

北九州市立大学大学院法学研究科修了（法学修士）。

2007年田川市議初当選（当時全国最年少2期）。

2015年県議会議員初当選（現在2期）。

現在の役職

[議会]

建築都市常任委員会委員 国際化・多文化共生社会調査特別委員会委員長 / 2期目では文教委員会副委員長も歴任

[会派]

民主県政クラブ県議団副幹事長 / 政策審議会事務局長
会派では、代表質問など政策部門の事務局長を通算4年とめる政策通

＼お友達募集中／
LINE 公式アカウント

登録方法 コロナ陽性者数毎日最新情報を配信中！

①右のQRコードを読み取り
追加ボタンをクリック



②LINEアプリを起動→
「友だち追加」→「検索」検索欄に
「@makoto-line」を入力して追加

③URLアクセス
<https://line.me/R/ti/p/OLy6r17UAe>